

令和3年10月 吉日

支援関係者皆様

北海道大学病院 リハビリテーション科（部）
教授 生駒 一憲
（公印省略）

「高次脳機能障害者支援に関するプロジェクトについて」

謹啓

日頃より大変お世話になっております。

この度当院では、下記のとおり高次脳機能障害者支援に関するプロジェクトを行うこととなりました。概要としましては、当院リハビリテーション科で過去に関わった患者さんやご家族の支援経過を、当事者も読めるような書籍として制作することを企画しており、当障害への普及啓発を含めた広報活動と資金調達目的が可能であるクラウドファンディングのシステムを利用することになりました。

詳細に関しては別添の案内またはプロジェクトページ（下記 URL 参照）よりご覧頂けますが、地域の障害福祉サービス事業所や企業と連携したプロジェクトとなっております。

クラウドファンディングに関しては、他県の大学病院や福祉事業所等でも多く活用されておりますが、当院で初めての試みであり、院内の役員会議でも期待されているところです。

つきましては御多忙の折、誠に恐縮ではございますが、このプロジェクトに関して、貴事業所でご周知をいただきますようご協力を宜しくお願い申し上げます。 謹白

記

名 称： 「高次脳機能障害の本を作りたい／みんなで取り組むプロジェクト」

募 集 期 間： 令和3年10月20日（水）12時～令和3年12月17日（金）23時

支 援 概 要： (株) READY FOR <https://readyfor.jp/projects/koujinou>

窓 口： 北海道大学病院リハビリテーション部
担当 ソーシャルワーカー 玉川 侑那
連絡 011-706-7010

以上

当事者も
まわりも

こうじのうきのうしょうがい

高次脳機能障害の本人が主役の

自費出版
支援募集

みんなが読める本を作りたい!



インターネットで寄付ができる
クラウドファンディング

でのご支援
をお願いいたします!

募集期間
10月20日 12時から
12月17日
23時まで



支援者

家族

本人

交通事故や脳血管疾患などにより生じる“**高次脳機能障害**”は多様な症状と長期化しやすい特性がある一方で、一緒に支援の経過を見ていく病院、地域の支援機関は全国的に見ても多くはありません。

北海道の拠点機関として20年が経過した今、これまで得た知見をもとに「**障害を持つ当事者も、家族や支援者も、みんなが読める本をつくりたい**」と今回のプロジェクトを立ち上げました。

関わる人が本人と同じ視点を持つ
共生できる社会を!

企画にあたって、地域の事業所の皆さん、当事者の方々の協力や応援を頂いております。温かいご支援、応援の程どうぞ宜しくお願い致します。

北海道大学病院リハビリテーション部（科）生駒一憲

目標金額

220万円

クラウドファンディング・プロジェクトのながれ

クレジットカードか
銀行振込で
ご支援いただけます

インターネット上で
寄付をしていただけます。



当事者が在籍する事業所や
協力企業様と一緒に本をつくります



当事者、家族、関係機関に
行き渡るよう販売します

ご支援の金額によって、完成した本や当事者が作る商品などを『リターン』としてお受け取りいただけます。
期間内に目標額に届かない場合はプロジェクトは否決され、1円も支援を受け取ることができない「All or Nothing」形式でのプロジェクトです。



←まずはこちらをご覧ください! または検索で…

レディーフォー 北大 高次脳



<https://readyfor.jp/projects/koujinou>

お問い合わせ

北海道大学病院 リハビリテーション部
担当/ ソーシャルワーカー 玉川 侑那

☎ 011-706-7010 ✉ kouji-cf@huhp.hokudai.ac.jp